

1. 2015年度報告

1. 研究のグローバル化推進

- 1)文化構想学部の英語学位プログラム「国際日本文化論プログラム」を担当する教員3名(海外在住)をリクルート(うち1名の嘱任を正式決定)
- 2)大学院文学研究科・文学部「中東・イスラーム研究コース」を担当する教員2名をリクルート(2016年度に入り嘱任決定)
- 3)コロンビア大学教授2名を訪問教授として継続嘱任
- 4)UCLA 上級准教授1名を訪問准教授として引き継続嘱任
- 5)コロンビア大学研究員1名を訪問主任研究員として継続嘱任
- 6)教員をUCLA、コロンビア大学に派遣しての大学院生指導、共同研究、ワークショップの開催

2. 学生交流

- 1)UCLA-Waseda リサーチフェローシップ・プログラムによる大学院生の派遣

3. 研究関連国際イベントの開催

- 1)UCLAにて国際シンポジウム”Tokyo Textscape”を開催
- 2)UCLAにて国際ワークショップ「和本リテラシー」を開催
- 3)本学にて国際シンポジウム「東アジアのメモリーレジームの変革と記憶の行為者」を開催
- 4)コロンビア大学にて国際シンポジウム”Rethinking Japanese Literary History”を開催
- 5)UCLAにて国際シンポジウム”Imaging The World in Premodern Japan”と国際ワークショップ”Acting Out”を開催
- 6)総合人文科学研究センター研究部門「東アジアの人文知」の第1回国際フォーラム「越境する人文知」を開催
- 7)東国大学での国際ワークショップを後援
- 8)海外著名大学研究者を招聘しての講演会を複数開催

4. 学院の改革

- 1)文化構想学部に英語学位プログラム「国際日本文化論プログラム」設置を決定(2017年度開設)
- 2)大学院文学研究科「国際日本学コース」の設置を決定
- 3)大学院文学研究科・文学部「中東・イスラーム研究コース」新設を決定(2017年度入学生を対象)
- 4)英語外部試験(4技能型)を利用する入試の2017年度導入を決定

5. 制度・仕組の創設

- 1)クォーター科目の導入を決定(2017年度より)

2) 副専攻の導入を決定 (2017 年度入学生より)

3) 選択英語科目の見直し検討着手

6. 連携の模索

1) コロンビア大学ドナルド・キーンセンターと角田柳作記念国際日本学研究所の間で学術交流協定を締結

2) コロンビア大学・シカゴ大学と大学院レベルの教育・研究についての連携を協議

3) コロンビア大学とのダブルディグリー・プログラム運営委員会を開催

4) バーミンガム大学と文学学術院、ならびに演劇博物館の間で学術交流協定を締結

7. その他

1) 英語学位プログラム準備のための助教 (2 名) 採用を決定

2) UCLA との共同研究による「変体仮名あぶり」を開発、プレスリリース

3) UCLA との共同研究による「くずし字 OCR」の開発を促進

2. 2016年度計画

1. 研究のグローバル化推進

- 1)文化構想学部の英語学位プログラム「国際日本文化論プログラム」を担当する教員1名着任、2名の嘱任を正式決定
- 2)コロンビア大学教授2名を訪問教授として継続嘱任
- 3)UCLA 上級准教授1名を訪問准教授として継続嘱任
- 4)コロンビア大学研究員1名を訪問主任研究員として継続嘱任
- 5)教員をUCLAに派遣しての大学院生指導、共同研究、ワークショップの開催

2. 学生交流

- 1)UCLA-Waseda リサーチフェローシップ・プログラムによる大学院生の派遣
- 2)Waseda-UCLA リサーチフェローシップ・プログラムによる大学院生の受入
- 3)Waseda-UCLA トラベル・アワードによる大学院生の受入

3. 研究関連国際イベントの開催

- 1)本学での国際シンポジウム「文化生産者としての〈作者〉」開催
- 2)UCLA での国際シンポジウムと国際ワークショップ開催
- 3)コロンビア大学での国際シンポジウム開催
- 4)「国際日本学」研究の、歴史、演劇・映像分野への拡大（国際シンポジウムの開催）
- 5)2017年度開催予定の「狂言のタベ@LA」公演を中心としたワークショップ等の開催を準備
- 6)バーミンガム大学、本学演劇博物館と連携しての、シェイクスピア没後400年関連国際イベントの開催

4. 学術院の改革

- 1)文学研究科「中東・イスラーム研究コース」の入試を実施
- 2)文化構想学部英語学位プログラムのAO入試を実施
- 3)英語外部試験（4技能型）を利用する入試を実施
- 4)選択英語科目の見直しを決定

5. 制度・仕組の創設

- 1)JA制度の導入検討

6. 連携の模索

- 1)中国の大学との箇所間協定締結

7. その他

- 1)英語学位プログラム準備のための助教（2名）採用

以上